

県南保健所感染症情報

令和6年 第 12 週

令和6年3月18日 ~ 令和6年3月24日

【発行元】長崎県県南保健所 地域保健課 TEL:0957-62-3289

◇◇定点把握の対象となる5類感染症 発生状況◇◇ (定点当たり患者数)

定点	疾病名	週別 発生状況						国・県・県南 発生状況						基準値		
		県南保健所						第 12 週						警報レベル		注 意 報 レ ベル
		10 週		11 週		12 週		全国		長崎県		県南保健所		開始	終息	
インフルエンザ定点		7.50		17.25	注意報	22.50	注意報	14.08	警報	16.94	警報	22.50	注意報	30	10	10
COVID-19		6.88		7.75		7.50		5.21		7.23		7.50				
小児科 定点	RSウイルス感染症	0.20		1.60		0.20		0.58		0.05		0.20				
	咽頭結膜熱	1.00		0.60		0.60		0.70		0.93		0.60		3	1	
	A群溶連菌咽頭炎	19.00	警報	17.20	警報	16.00	警報	3.67		3.72		16.00	警報	8	4	
	感染性胃腸炎	4.20		2.80		2.80		4.28		3.37		2.80		20	12	
	水痘	0.00		0.00		0.00		0.13		0.07		0.00		2	1	1
	手足口病	0.00		0.00		0.00		0.17		0.49		0.00		5	2	
	伝染性紅斑(リンゴ病)	0.00		0.00		0.00		0.02		0.00		0.00		2	1	
	突発性発しん	1.40		0.20		0.40		0.21		0.28		0.40				
	ヘルパンギーナ	0.00		0.00		0.00		0.02		0.00		0.00		6	2	
	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.00		0.00		0.00		0.03		0.00		0.00		6	2	3
眼科 定点	急性出血性結膜炎	1.00	警報	1.00	警報	0.00		0.02		0.00		0.00		1	0.1	
	流行性角結膜炎	6.00		7.00		5.00		0.41		0.88		5.00		8	4	
基幹 定点	細菌性髄膜炎	0.00		0.00		0.00		0.02		0.00		0.00				
	無菌性髄膜炎	0.00		0.00		0.00		0.03		0.00		0.00				
	マイコプラズマ肺炎	0.00		0.00		0.00		0.08		0.00		0.00				
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)	0.00		0.00		0.00		0.01		0.00		0.00				
	感染性胃腸炎(ロタウイルスであるものに限る)	0.00		0.00		0.00		0.02		0.00		0.00				

◇◇全数把握対象感染症 発生状況◇◇

一類感染症	報告なし
二類感染症	報告なし
三類感染症	報告なし
四類感染症	報告なし
五類感染症	報告なし

◇◇トピックス・季節情報◇◇

☆マダニが活発に活動する時期に入りますのでダニ媒介感染症に注意しましょう。
 ダニ媒介性感染症とは、日本紅斑熱や重症熱性血小板減少症候群(SFTS)及びつつが虫病等の病原体を保有するマダニに咬まれることにより感染する病気です。
 ダニ媒介感染症にはSFTS、日本紅斑熱、ライム病、つつが虫病などがあり、マダニに咬まれないように気をつけることが重要です。特にマダニの活動が盛んな春から秋にかけては、マダニに咬まれる危険性が高まります。草むらや藪など、マダニが多く生息する場所に入る場合には、長袖・長ズボン(シャツの裾はズボンの中に、ズボンの裾は靴下や長靴の中に入れる、または登山用スパッツを着用する)、足を完全に覆う靴(サンダル等は避ける)、帽子、手袋を着用し、首にタオルを巻く等、肌の露出を少なくすることが大事です。服は、明るい色のもの(マダニを目視で確認しやすい)がおすすめです。DEET(ディート)やイカリジンという成分を含む虫除け剤の中には服の上から用いるタイプがあり、補助的な効果があると言われています。また、屋外活動後は入浴し、マダニに咬まれていないか確認して下さい。特に、首、耳、わきの下、足の付け根、手首、膝の裏などがポイントです。マダニに吸血された場合には、無理に取り除こうとせず、皮膚科等医療機関で適切に処置してもらいましょう。また、マダニに咬まれた後、数週間程度は体調の変化に注意をし、発熱等の症状が認められた場合はすみやかに医療機関で診察を受けて下さい。その際、マダニに咬まれたことを医師に説明して下さい。
 また、SFTSウイルスに感染した愛玩動物からの感染もしくは疑われる事例もあります。特に猫が感染した場合、感染個体の半数以上が死亡に至ると言われています。よってヒトのみならず、愛玩動物への忌避剤・駆虫薬投与等による予防も念頭におきましょう。
 *全てのマダニが病原体を保有しているわけではありません